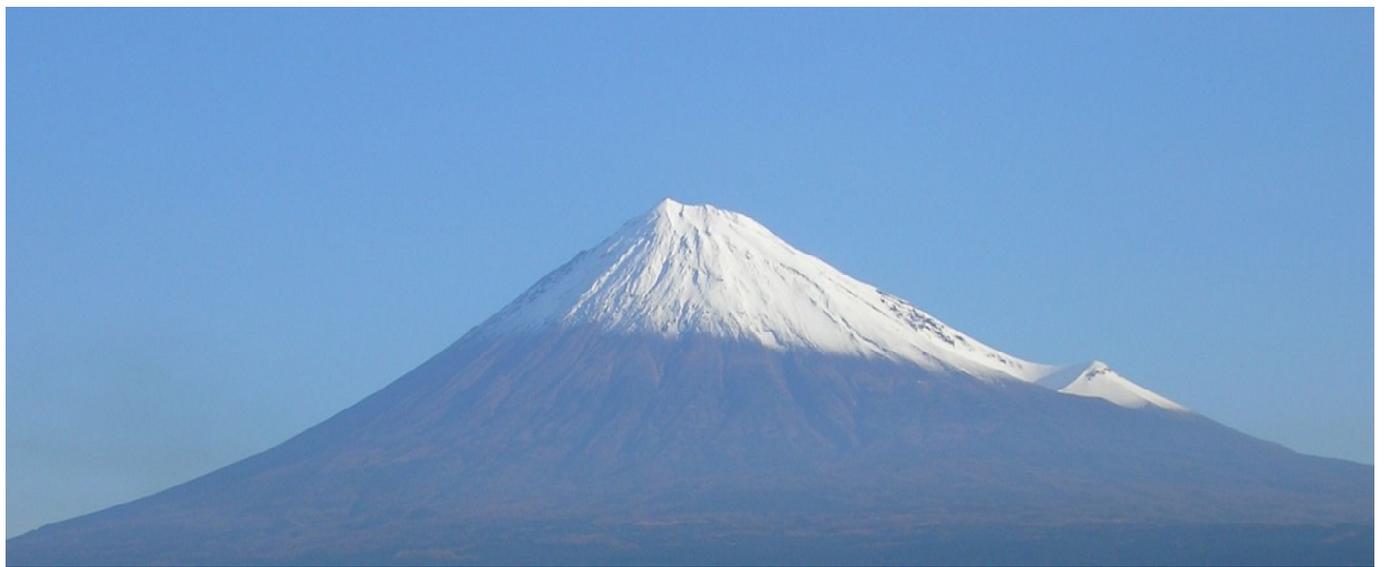


# しおんだより

平成24年1月  
創刊号

いきいき医療グループ 医療法人社団 紫苑会 理念 あなたを支えたい、そして笑顔に出会いたい。



## 「地域に根差した医療を」

医療法人社団紫苑会 理事長 田中 博

医療法人社団紫苑会広報誌「しおん」発行に際し一言ご挨拶申し上げます。

ここ富士市鷹岡の地に田中クリニックを作ってから早いもので23年が経過致しました。その後、平成9年に社会福祉法人博美会を設立、ケアハウス富士の里を作りました。平成13年には、医療法人社団紫苑会を設立、いきいきリハビリテーション病院を開院させて戴き現在に至りますが、一貫して地域医療に対する想いは23年前と変わっておりません。「あなたを支えたい、そして笑顔に出会いたい」という法人理念のもと、地域に暮らすすべての人たちが、安心して健康な社会生活が営めるよう、急性期から慢性期診療に至るまで継続的な切れ目のない医療を提供できるようこれからも邁進したいと考えております。まだまだ未熟ではございますが、23年の歳月をかけ何とか地域の皆様に存在を認めて戴ける医療機関になれたのではないかと考えています。

今回は、地域の皆様により紫苑会を知って戴くべく、長年の夢でもあった広報誌を発行させて戴く事となりました。この広報誌を通じて、皆様にお伝えしたい事やお伝えしなければならない事は沢山ありますが、気取った事も難しい事も書くつもりはありません。皆様に気軽に読んで戴ける広報誌となればと思っております。この広報誌を通じて、皆様には当法人の持つ様々な資源をお伝えできる事のみならず、私どもの医療に対する熱い思いもお伝え出来たら嬉しく思っております。また、当法人を支えてくれている職員には、法人の理念や考えを再確認する場として読んで貰えたらと考えております。

今後とも、皆様からのさらなるご支援とご協力をお願いすると共に「しおん」もご愛読戴ければ幸いです。



## 「広報誌刊行によせて」

### いきいきリハビリテーション病院長 幸浩 敏興

ひとが幸せに生きることを懸命に考えなければならない寒い北国のおはなしです。外は凍てつく世界でもお部屋の中はホカホカで、温かいことが最高のご馳走なのです。犬櫓の鈴のようにタイヤチェーンの音を響かせて走る車も時に積もった雪に足を取られ動けなくなることがあります。吹雪の中で立ち往生し、燃料切れになると凍死します。タイヤがスリップし動けなくなった音を聞くと近所の人々が家から飛び出してきて、人力で埋まった車を押し出すのです。たとえ雪の激しい夜中でも、勿論、見ず知らずの人にでも。こうして人の知恵をいかんなく発揮し、力を合わせ厳しい冬をしのぎます。

私どもの「いきいきリハビリテーション病院」でも師走恒例の患者さんによるハンドベルコンサートが企画され、演奏目録の「きよしこの夜」をけんめいに奏でようとしています。助っ人が他の楽器でメロディを伴奏してくれなければクリスマス賛歌とは思ってもらえないレベルですが、職員の考えと行動は目から鱗の落ちる思いなのです。このコンサートを社会一般に理解されている音楽演奏とは考えず「各々の患者さんがハンドベルと一緒に歌を口ずさんで楽しむ」と職員は認識し、この目的に向けて努力していました。穏やかにクリスマスキャロルを奏でる患者さんの眼差しに心の安らぎと職員の優しさへの感謝を見つけました。ひやひやした「きよしこの夜」をまとめた職員の熱意と努力がどんなに素晴らしい効果を奏でるか示していただきました。リハビリテーション分野を黎明期から見ていると現在は円熟期に入らんとしているのかなと感じます。

北海道の太平洋側はとても霧が濃い地域です。陸地にいても濃霧に巻かれると霧笛の音が方角を定める頼りになります。室蘭に住んでいたころ、コートがすっかり濡れるほどの濃霧の中を霧笛を聞きながら勤務病院に急いだことを思い出します。最近、方位探査がITに切り替わり霧笛が無くなりました。便利かもしれませんが五感を使わなくなり人間としての感性が衰えはしないか心配になりますが、今回のハンドベルの件は当院の職員が心を働かせて業務していることを教えてくれ、安心と、この職場の一員として従事している誇りを感じます。そして益々の発展と円熟を信じます。

広報誌創刊号を発行にするにあたり、  
退職された河合秀彦先生・山本竜隆先生より  
お祝いの言葉をいただきました。  
お忙しい中どうもありがとうございました。



### ～山本竜隆先生より～

広報誌発行おめでとうございます。田中博理事長の実践してこられた医療、そして医療観や理念を、より多くの方々に知っていただくために、今回の発刊はたいへん意義があると思います。

さて私と富士宮や朝霧高原との関わりですが、富士セラミックス様や大一セラム様における産業医活動が始まりました。そして医療法人社団紫苑会の一員として、私の富士医療圏での日常診療がスタート、朝霧高原診療所においては地域で約 50 年ぶりの医療機関開設となりました。現在、地域住民の一人として、一人の医師として日々の生活を送っています。これからも地域貢献や地域医療の充実のため、入院施設やさまざまな高度医療機器、リハビリなどが充実している紫苑会との連携をお願いするとともに、広報誌発刊のお祝いの言葉とさせていただきます。



### ～河合秀彦先生より～

ふじの町クリニック・健診センターの河合です。

医療法人社団紫苑会いきいきリハビリテーション病院には 3 年間お世話になりました。

その中で、患者さんの疾患管理はもちろんのこと、疾患予防やその後の生活を含めた幅広い視野で患者さんのケアをしていかなければならないリハビリ医の役割を現場の中でいろいろ勉強させていただきました。疾患管理や予防は、これからの医療の要となってゆくことを感じています。

富士富士宮地域の急性期医療から回復期維持期、在宅にむけて幅広いケアをおこなって貴施設に敬意を表します。今後とも、富士富士宮地域住民に愛される施設づくりをめざしながら、大きく発展されることを祈っております。



## 広報委員会が活動を開始しました！！

昨年9月に法人の広報委員会が立ち上がりました。主な活動は、法人パンフレット及び広報誌の作成、ホームページの管理等となっています。昨年末には新しい法人パンフレットも完成しました。今後、地域の皆様に様々な情報の発信を行っていき、お役にたてる広報誌を目指していきたいと思っています。お読みいただく皆様からも「こんな情報が欲しい」等のご要望などがありましたらご連絡いただければと思います。身近な広報誌になれるように委員一同頑張っていきます。



新しい法人パンフレット

### 【いきいきリハビリテーション病院 外来予定】リハビリテーション科・整形外科

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	休診
午後	△	○	○	○	○	休診

(△) 月曜日の午後は整形外科外来は休診となります

### 【田中クリニック 外来予定】内科・循環器科・神経内科・呼吸器内科・消化器科

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	休診	○	休診

## 医療法人社団 紫苑会

いきいきリハビリテーション病院

〒419-0205 静岡県富士市天間1640-1

TEL 0545-73-1919

FAX 0545-73-1916

フリーダイヤル：0120-191-719

URL <http://www.iki-iki-hp.com>

田中クリニック

田中クリニック健診センター

〒419-0202 静岡県富士市久沢1652-1

TEL 0545-71-0160

FAX 0545-71-0950

E-mail [jinji@iki-iki-hp.com](mailto:jinji@iki-iki-hp.com)